

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中！

## 市の補助制度を活用した高校生が活動報告

〔2月19日 西脇市役所〕



各校の生徒らが活動を報告。写真は金ゴマの選別機を製作した西脇工業高校の生徒たち

市の「高校生地域活動支援事業補助金」を活用した高校生らが、片山市長らに活動報告をしました。補助制度は次代を担う人材育成を目的に、市内の高校生が行う地域の活性化や貢献活動に対して、市が活動資金を助成するもので、3校4団体が活用しました。西脇工業高校3年は農業体験を経て、4種類の金ゴマ選別機を製作。作業の省力化を目指しました。西脇高校家庭クラブは播州織の衣装制作やファッションショーを実施し、播州織の魅力を発信。同校地学部は児童向けの自然科学教室の開催や、教職員向けの理科教育冊子の制作に取り組みました。西脇北高校総合学習研究グループは酒造好適米の山田錦を使ったノンアルコールの甘酒づくりに挑戦。山田錦を科学的に分析しながら、酒米としての優れた特性を研究しました。



兵庫県や全国で活躍した市内の小中学生を対象に、今年は5名1団体に「絆賞」を贈呈

## 荣誉をたたえ「絆賞」を贈呈

〔2月28日 生涯学習まちづくりセンター〕

西脇市では平成14年度から、スポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた市内の小中学生に、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」をお贈りしています。今年は釜須美優さん（美術）、丸山早希さん（同）、松田莉那さん（作文）、永尾昊幸さん（同）、山本麗さん（バレーボール）、藤井一恵さん、村井雄馬さん、増本稜大さん（以上理数）を表彰しました（22ページに関連記事）。



メンバーの9名は出発前に片山市長を訪問。「癒やしの演奏をしたい」と抱負を語りました。

## ベルの音色で被災地に癒やしを

〔3月9日～10日 シーパルピア女川（宮城県ほか）〕

市内を拠点に活動するハンドベル演奏グループ「ティンカーベル」の皆さんが、東日本大震災で被災した宮城県を訪ね、被災地の鎮魂の祈りを込めたチャリティー公演を開催。同県女川町と気仙沼市の商業施設や寺院で、「花は咲く」や「しあわせ運べるように」などをベルで演奏しました。同団体によるチャリティー公演は、平成28年に始まり、今回が3回目になります。

## 卓球を楽しみながら健康寿命を延ばそう

〔3月16日 茜が丘複合施設みらいえ〕



催しは本市の東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン事業の一環として開催

「『西脇市卓球フェスタ』健康卓球」で、日本学生卓球連盟会長の兒玉圭司さんが、卓球を楽しみながら健康寿命を延ばす取り組みを紹介。参加者は学生卓球で活躍する渡辺裕介選手と宇田幸矢選手、日本代表チームの日高達也コーチから指導を受けながら、球的的当てやラリー対決に挑戦しました。

## 全国大会優勝の藤本彩月さんに「市スポーツ賞」

〔2月27日 西脇市役所〕



「日本一になる」目標を達成した藤本彩月さん（右）は次の目標を「世界一になること」と話す。

西脇市出身の敬愛高校（福岡県）3年、藤本彩月さんに「西脇市スポーツ賞」を贈呈しました。藤本さんは平成30年度全国高等学校総合体育大会の柔道競技大会女子52キロ級で優勝を飾っています。世界大会の出場を控え、「出場するからには次の大会も優勝を目指したい」と力強く決意を述べました。

## 播州織の活性化策が「織研天然繊維特別賞」に輝く

〔3月11日 ロイヤルパークホテル（東京都）〕



表彰式で主催の織研新聞社から表彰盾を受け取る片山市長（右）

市と播州織産地は、繊維・ファッション関連ビジネスの発展に寄与した個人や団体、企業などに贈られる「第5回織研天然繊維特別賞」を受賞。官民が連携し、播州織デザイナーの誘致や育成支援、最終製品化などを行い、播州織のブランド力の向上と競争力の強化を目指す取り組みが評価されました。

## Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



日頃の創作活動を披露する「西脇市春のカルチャーフェスティバル」で、市民作品展と市民音楽祭を開催。北海道富良野市の子ども作品展も開催。（3月16日～、市民会館ほか）



市聴覚障害者協会が講演会を開催。手話通訳士の西田功さんが自身の経験を交えながら、手話の魅力について語りました。（3月9日、生涯学習まちづくりセンター）



「春季全国火災予防運動」を前に、西脇市消防団が春季合同訓練を実施。山林から出火して延焼中との想定で、放水訓練や情報伝達の確認を行いました。（2月24日、福谷公園周辺）



地元住民の要望を受けて、県道34号線の落方水尾橋付近に、押しボタン式の信号機を新設。点灯式で芳田小学校の児童が渡り、関係者らが完成を祝いました。（2月27日、落方町）